

**「障害者のスポーツ施設利用促進事業」におけるマニュアル改訂  
第1回検討委員会 議事要旨**

日時：令和4年6月28日（火） 15時～17時15分

場所：東京都障害者総合スポーツセンター（対面及びリモートの併用）

**1 開会**

**2 委員紹介**

- ・各委員から一言ずつ挨拶が行われた。

**3 委員長選出**

- ・検討委員会設置要項の規定に基づき、（公財）笹川スポーツ財団 澁谷 茂樹 委員を委員長に選出した。

**4 概要・スケジュールについて**

- ・事務局から実施内容や検討委員会での検討事項、スケジュールについて説明が行われた。

**5 審議事項**

**（1） アンケート調査について**

- ・事務局からアンケート調査票の各質問項目を説明し、委員から意見を聴取した。
- ・委員からの意見を踏まえ、アンケート調査票の修正内容は事務局に一任するとともに、必要に応じてマニュアル冊子のコラムとして掲載することとした。

**【委員からの主なコメント】**

- 施設利用時の制限の有無に関して、障害者が使用するものは車いすだけではないので、車いす以外に義手や杖なども含めて、制限しているものを幅広く調査したらどうか。
- 施設での障害者向けイベント等において実施しているスポーツについて、バドミントンなど東京2020大会での新たな競技を入れたらどうか。
- 障害者の施設利用やイベント等の参加時における配慮に関して、近年の技術向上を踏まえ、「遠隔手話通訳サービス」などICTに関する取組の有無を調査したらどうか。
- 個人利用する場合の料金について、同伴者の料金の扱いも調査したらどうか。

**（2） ヒアリング調査・文献調査について**

- ・ヒアリング調査における調査先について、委員から意見を聴取した。

**【委員からの主なコメント】**

- 上野駅で「エキマトペ」という聴覚障害者向けに駅のホームでの音をマンガのよ

うなフォントで画面に表示する取組が行われており、福祉的要素だけではなく、若者にとっても興味を持てる工夫がされている。バリアフリーへの配慮というと障害者のためのものという区別がはっきりついている印象があるので、誰にとっても面白いもの、使いやすいもの、分かりやすいものになると良い。

- パラスポーツ事業をやるにあたり、参加者が集まらない、利用証の発行が不安など初期段階で不安に思う施設が多い。福祉分野などと連携すれば解決可能であり、実際に連携して事業を行っている先進事例が葛飾区や武蔵野市などにある。

## 6 閉会